

ロータリーを  
実践し



みんなに  
豊かな人生を

2013~2014年度 国際ロータリーのテーマ  
ロン D.バートン

RI第2510地区 留萌ロータリークラブ

# 会報

2013 ▶ 2014  
WEEKLY REPORT

留萌ロータリークラブ 会長目標 **集中と調和**

会長/中出敏彦 幹事/大嶋孝広

## プログラム

- 本日
  - 来賓卓話「税を考える週間によせて」  
留萌税務署 署長 山本 浩三様
  - 結婚記念日  
11月7日 関野 政人
- 次週予定
  - 移動例会「職場訪問例会/沖見保育園」

No. 2580  
第17回 11月6日

出席報告

前  
例  
会

会員総数	39名
出免会員	8名
出免出席	3名
基準会員出席	21名
出席率	70.58%

前  
々  
会

第14回 10月16日

欠席会員	12名
内メイクアップ	5名
修正出席率	76.47%

例会/毎週水曜 12:15~13:15 留萌産業会館2F

## 🖋️ 会長報告 .....

1. 10月20日江別市にて開催された国際ロータリー第2510地区年次大会に参加された会員の皆様ご苦労さまでした。

ここで、出席表彰された会員の皆様に記念品が届いておりますのでお渡しいたします。

クラブ例会出席100%表彰で、25年表彰に二ノ宮清信会員、20年表彰で原田功会員、中出敏彦会員、森俊二会員、15年表彰で西谷英樹会員です。

## 📁 幹事報告 .....

- 砂川RC、芦別RCより11月例会案内を受領しました。
- 米山学友会より「2013年度米山学友会定時総

会/家族懇親会」の案内が届いております。閲覧いたします。

- 2012~2013年度地区国際奉仕事業の報告とお礼、2013~2014年度国際奉仕事業について、また、地区国際奉仕事業検証ツアーの案内が届いておりますので閲覧いたします。

## 👤 ニコニコBOX .....

- 地区大会参加ご苦労様でした。 中出会長
- 地区大会参加ありがとうございました。 大嶋幹事
- 出席100%25年表彰いただきました。 二ノ宮会員
- 出席20年表彰いただきました。 森(俊)会員

前 回 367,000円

今回 7,000円  
累計 374,000円

## プログラム……………

### 「地区大会報告」

山本 譲二 会員

10月20日 5時30分起床、慌しく支度し信金本店前に6時35分。到着し間もなくバスが来ました。バスには10名程度のメンバーが乗車していて、地区大会としては少し寂しい思いがします。例年だと参加者は30名くらいいたのでは？…

バスは南町で中川会員を乗せ、一路江別に向かって出発しました。車中では、セブンイレブン特製のおにぎり弁当と温かいお茶をいただきました。

快適なドライブ日和ですが、アサヒの缶ジュース？を飲む方が若干いて和気藹々の中、森エレクトの進行で例会が行なわれました。そうこうしているうちに江別市民会館に到着し、中出会長、大嶋幹事、田中会員、鈴木会員、行徳会員の出迎えを受け会場に入場しました。

私たちの留萌クラブの席はいつもの様に、前から6番目の列から3列30人分の席が用意されておりました。本会議は安孫子ガバナーの点鐘で始まり、恒例の式次第通り進みました。地区大会参加者は1,000名位だと思います。登録人数は約1,600名と、いつもの地区大会に比べてこじんまりしている気がしました。14,000円の登録料にしては前年度と比較して結構お粗末なように感じたのは私一人だけではなかったと思います。

本会議も午前の部（クラブ紹介は10時頃）が終り、恒例の会食でございます。会場の場所が見当たらず、結局バスの中で豪華弁当を大変おいしくいただきました。

午後からは高橋知事の祝辞で始まり、次の表彰の中では見苦しい部分も見受けられました。リハーサルはしたのかなと感じられる思いがしました。続いて記念講演ですが、福島県飯館村村長の「お金の世界」から「いのちの世界」と題しての講演でした。最後の子供たちの花束贈呈

がすごく感動した瞬間でした。

休憩時間の中にトイレで細川バスターとお話をする機会があり、昨年の地区大会と比較しながらお話をさせていただきました。また、お体はすっかり回復された様で、留萌クラブのメンバーの方にもよろしくとの事でした。本会議も最後になり、羽部ガバナーエレクト、嵯峨ガバナーノミニーのお二人の挨拶がありましたが、二方とも話術が大変巧みな方で感動いたしました。

次はお待ちかねの記念懇親会です。会場を市民体育館に移しての開催です。私たち留萌クラブは5時開会のところ、約40分位前に会場に到着し、飲み物は飲んで良いとの事でしたが、周りを見回すと食べ物に手を付けているクラブが大勢おりましたので、我がクラブも周りの勢いに押されて自然と食べ物に手が行き、5時過ぎには既にテーブルの上には料理が無くなってしまいました。意外と料理の種類が少なく、寂しい思いをしました。

5時30分には会場を後にしてバスに乗り、留萌を目指して帰路につきました。バスの中では恒例の大宴会が始まり、サロンバスの後方の席はすごくにぎやかでございました。私は太った方に絡まれる事なく（函館の地区大会の帰り、車中で太った方に絡まれた）一人の負傷者も出さず、無事留萌に到着しました。沿岸バスのドライバーさん、大変ありがとうございました。

大嶋 孝広 会員

私の報告は、10月19日に行われた会長・幹事会についてです。

会長・幹事会は、本会議の前日に江別ではなく、新札幌のシェラトン札幌ホテルで行われました。

10時に会長と二人で留萌を出発し、昼に会長お勧めのラーメン屋さんでラーメンを食べ会場に入りました。（いつも思うのですが中出会長は何処へ行っても色々なお店を知ってて本当に商売範囲が広いなと感心します。）

13時点鐘で、会長・幹事会が始まりました。来賓・役員・バスターの紹介が始まり、

いつも本会議で見慣れている光景でした、これは会長・幹事会には、必要ないなと思いました。本会議だけで充分です。

大会決議、決算報告、委員会報告と訳の解らないまま進行し、無事終了しました。続いて場所を移して、地区指導者教育セミナーが始まりました。

基調講演では、ロータリーの友編集長の二神典子さんが「公共イメージと認知度の向上」と題し、広報活動の重要性をお話しされました。この後始まるフォーラムでも広報活動の重要性を討論したのですが、留萌ロータリークラブもそうなんです各クラブも会員減少し、新会員の入会活動に必死なんだと感じました。

二神さんは、「ホームページを作り、そのホームページを利用して広報活動を行った方が良い」「新聞やTVはもう古い」と言っていました。また、ホームページを作ってもその内容が問題だとも言っていました。

そのホームページは、各クラブの連絡事項を載せた単なる連絡網ではいけない、外向けのホームページを作り、一般の人がホームページを見て関心を持てるものにしなければならない。例えば「留萌ロータリークラブ」とは誰も検索する人はいないと思うので、他のキーワードでヒットするように地域の情報も載せるなどして工夫をするとよい。

また、ホームページには私達の活動という事で、クラブで行っている奉仕活動の内容を写真入りで解りやすく載せる。そして、それは単なる活動報告であってはいけないそうです。普段行っている奉仕活動をもっとアピールしなければいけない、自己満足ではいけないのです。普段の活動を見てもらう事が入会者を増やすのです。現に福島・宮城のロータリークラブは、会員が増えているそうです。それはロータリークラブが行っている奉仕活動を目の前で見るからだそうです。

もう一つ二神さんは、ホームページには絶対に個人情報載せてはいけないとも話していました。二神さんの話を聞いて、会員を増やす方法の一つとして有効な方法だなと関心して聞いて

ていました。

この後フォーラムでは、地区の各委員長が広報活動について討論してました。地区ロータリー財団委員長の出村知佳子さんも、これまでは事業（クリンウォーターなど）をやればそれで良いと思っていたが、何をどのように行ったかが重要で、もっと一般の人にロータリー活動をアピールして行きたいと話していました。

フォーラムに続き、最後にR I会長代理歓迎晩餐会が始まり、豪華な料理と綺麗なコンパニオンに囲まれ無事全てのプログラムが終了しました。羽幌の茶谷ガバナー補佐が「羽幌の会員全員来て、ススキノで羽幌ナイトを行っているので行かきゃならない」というので、会長と二人でススキノへは行きたくなかったのですが、仕方なく茶谷ガバナー補佐をススキノまでお送りしました。その後のことは疲れていたせいかなり良く覚えていません。

以上、私の地区大会 会長・幹事会の報告を終わります。

### 福士 幸子 会員

地区大会の報告をさせていただきます。私にとって入会した年の札幌大会は欠席いたしましたが、小樽大会、静内大会、江別大会と3回目の地区大会の出席でした。入会した年に田中先生から「入会した年には必ず地区大会に連れてくるもんだ」と言われましたが、その意味が入会2年目の小樽大会に初めて参加してよくわかりました。点鐘、国歌斉唱、ロータリーソング「我らの生業」。ここまで聞きますと毎年のことですが、この大会に出席できた事を感謝している自分を感じています。

来賓の祝辞で三好江別市長の挨拶があり、江別市は石狩川や千歳川の大小の河川と2053ヘクタールの道立野幌森林公園に囲まれた、緑豊かな自然を有している街ですとの紹介がありました。緑豊かな自然は、先人が残そうと思って努力したものだと言う事を強調しておりました。ロータリークラブが残した物、数十年後にロータリアンでない人から、何か発信があったら素晴らしいなあと思っております。

## 第16回 10月30日(水) 天候/晴

今年の記念講演は、飯館村の菅野村長による「お金の世界から、いのちの世界へ」でした。タイトルを見た時は違和感がありました。また、講演の後もタイトルは別の方が良かったのではないかとも思っております。ロータリアンは皆この世はいのちの世界だと思っているのではないのでしょうか。ただし、インパクトを与える為のタイトルだと考えれば、それはそれで良いのかなと自分に言い聞かせて納得した次第です。

講演の内容は日本の進む道が明治維新と終戦により大きく変化したのと同様、震災による原子力発電所の事故により大きく変化して欲しいとの事でした。亡くなった人々、未だに仮設住宅に住んでいる人々の苦しみを無駄にしないで欲しいということで、だから即、原子力発電反対というのではなく、「まで」という言葉を使っていました。「まで」に、片手ではなく、両手で、片手の時は顔があっちを向いていますが、両手を添えれば顔は自然に手のほうを向きます。までと言う言葉は久しぶりに聞きました。母には、「までにしなさい。」「までに掃除をしなきゃ。」と言われて育ちました。しかし私は子育ての時、「まで」という言葉を使わずに子育てをしました。「まで」という言葉の意味が分からず、方言だと思っていました。言葉が無くなるという事

は、その言葉の持つ心も無くなるんだと言う事を再確認したところです。これからでも遅くは無い。「まで」という言葉を使って生活していこうと思っています。先ほど山本会員からもお話がありましたが、講演の後十数人の園児により、一輪ずつの花束贈呈がありました。子どもの持つ力、どんな名優でも子供には負けると言われますが、まさしく、子どもの持つ力でありました。そして同時に、子供たちを「まで」に育てなければ、社会の財産である事を忘れてはならないと思いました。

記念の懇親会は、実際には4時30分頃から始まり、5時に乾杯、留萌クラブは5時30分ころ江別を発ち、7時30分ころ到着となりました。沿岸バスの方には見晴町の上まで送って戴き、ありがとうございました。懇親会後の、手に手つないでは経験した事はありませんので、一度ぜひ経験してみたいと思います。



### 例会プログラム【11月】

11月13日(水) 移動例会「職場訪問例会/沖見保育園」(職業奉仕委員会担当)

11月20日(水) 来賓卓話「ISON彗星接近」

元 増毛天文台 山崎 一様